

# 9月定例会を終えて

9月7日から17日までの11日間で開催

・7月豪雨災害の復旧費として、農地9800万円、農業用施設7億8550万円、林道3200万円、公共土木施設7億2435万円を予算計上した。7月21日専決の災害復旧予算8400万円、8月23日議決の災害復旧予算3億4184万円と合わせ総額で20億円を超えた。

近年にない大災害であり、議会としても復旧状況に注意を払っていく。

・飯南町育苗センターの改修（自動換気・灌水設備等の追加）として5799万円を予算計上した。活着の良い丈夫な苗を、安定して提供し続けられるよう、施設運営を含め期待する。

・自動運転サービス（路線バス）を10月4日から開始する。基本運賃は路線バスと同額の200円だが、1ヶ月定期代金は1000円と割安に設定しており、赤名地区の方々が有効活用されることを期待している。

・飯南町子ども等医療費助成の対象年齢を18歳までに拡充するよう条例改正した。

・山陰合同銀行所有の頓原社宅（3戸）を取得し、町営住宅（特定公共賃貸住宅）として活用する。

・町道2路線（栗屋谷線、弓取線）を農道に変更し、県営中山間地域総合整備事業を適用して整備する。

## ICTの活用について諮問

9月2日、議長から議会運営委員会に、ICTを活用しての議会活性化として、以下の項目について検討するよう諮問があった。

●議会のICT活用によるペーパーレス化の推進について

●紙資源の削減だけでなく、議会運営及び審議の効率化を図るためのICT機器（タブレット端末）の導入について



## 可決した主な議案

### 条例関係

飯南町子ども等医療費助成条例の一部を改正する条例の制定など6件

### 予算

令和3年度飯南町一般会計補正予算（第6号）など7件

### 諸議案

財産（土地及び建物）の取得など4件

### 報告

令和2年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告

### 議員提出議案

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

## 陳情

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出を求める陳情

〔陳情者〕

島根県町村議会議長会  
会長 藤原 充博

〔付託委員会〕

総務厚生常任委員会

〔審査の結果〕

採 択

## 決算審査

### 特別委員会を設置

令和2年度飯南町一般会計・各特別会計の歳入歳出決算及び各公営企業会計の決算を審査するため、決算審査特別委員会を設置した。

12月定例会で審査結果を報告する。

|      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 景山登美男  |
| 副委員長 | 平石 玲児  |
| 委員   | 伊藤 好晴  |
| 委員   | 内藤 眞一  |
| 委員   | 安部 誠也  |
| 委員   | 戸谷 ひとみ |

## 【令和3年度 各会計補正予算】

7月豪雨による農地・農業用施設災害（117件）、公共施設災害（103件）等災害復旧費16億3985万円の増額、繰上償還の実施に1億4670万円の増額など

## 一般会計 18億8560万円 増額

| 会 計 名    |            | 補正予算額     | 予 算 総 額    |
|----------|------------|-----------|------------|
| 一 般 会 計  |            | 18億8560万円 | 103億2552万円 |
| 特別会計     | 国民健康保険事業   | 99万円      | 6億1404万円   |
|          | 介護保険サービス事業 | 40万円      | 3850万円     |
| 病院事業会計   |            | 2011万円    | 12億8246万円  |
| 簡易水道事業会計 |            | 889万円     | 4億3453万円   |
| 下水道事業会計  |            | 528万円     | 5億3089万円   |